令　和　３　年　度

第３年次特別編入学

学　生　募　集　要　項

出 願 期 間	令和２年７月１０日(金)～７月１６日(木)
試　験　日	令和２年８月２８日(金)
合 格 発 表	令和２年９月３０日(水)

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては，募集時期及び選抜方法等を変更する場合があります。変更が生じた際には大学ホームページにて情報を速やかにお知らせします。

令　和　２　年　６　月

琉球大学工学部
http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp

目　　　次

○工学部入学者受入れの方針 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1

１．募集人員 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2
２．編入学の時期及び年次 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2
３．出願資格 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 2
４．試験方法及び試験日程 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3
５．配点 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 3
６．試験当日の集合場所及び集合時刻 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4
７．採点・評価基準及び合否判定基準 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 4
８．出願手続 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 6
９．受験に関する注意 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 7
１０．合格者の発表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8
１１．追加合格・第２次募集 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8
１２．入学手続及び諸経費 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8
１３．編入学後の単位認定及び履修 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 9
１４．第３年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者） ‥‥‥‥ 9
１５．受験時における合理的配慮等について ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １０
１６．災害等により被災した令和３年度琉球大学入学者選抜試験志願者の
検定料に関する特例措置 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １１
１７．出願に関する第２志望の取扱い（機械工学コース，エネルギー環境工学コース） ‥‥１１
１８．試験会場案内図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １２
１９．琉球大学案内図 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ １３

第３年次特別編入学学生募集要項等請求先／受験に関する問合せ先

本募集要項の郵送を希望する場合は，封筒の表に「第３年次特別編入学募集要項請求」と朱書きし，送付先住所を明記し切手を貼った返信用封筒(角型２号　縦 33 ㎝×横 24 ㎝)を同封して請求してください。
普通郵便の場合：210 円，速達郵便の場合：500 円

琉球大学工学部学務係
〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
TEL　098-895-8583（直通）　FAX　098-895-8590
E-mail　kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学工学部 Web ページ　http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/
琉球大学入試課 Web ページ　http://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/

○工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

1. 教育理念・目的

（機械工学コース）

機械工学の基本的な学問体系を教授し，幅広い教養と技術者倫理，自らの知識・能力を活かして機器の設計，製造，研究開発に取り組めるものづくりの基礎，変化する環境に対して自らの力でこれらを高められる自己学習能力を身に付け，国内外で幅広く活躍できる人材を育成することを目的とします。

（エネルギー環境工学コース）

エネルギー・環境問題を考慮し，エネルギー源や環境負荷低減技術の開発と利用，及びエネルギーの効率的な変換や制御と，環境に配慮した材料の知識に加えて，化学，環境，マネジメント工学などを学ぶことで，幅広い専門的な知識を有するとともに，それら複合分野を統合マネジメントし，総合的な問題であるエネルギー・環境分野に対応できる人材を育成することを目的とします。

（電気システム工学コース）

現代社会の基盤である電気エネルギーの効率的な発生や変換技術に加えて，人口減少や超高齢化社会に向けて持続可能な社会の形成に必要とされる再生可能エネルギーやロボットの活用を推進していくため，電気工学やシステム制御工学の専門知識を有し，幅広い視野と柔軟的思考を兼ね備えた人材を育成することを目的とします。

（電子情報通信コース）

進展する高度ICT社会において，それらを根幹から支えるエレクトロニクス技術と情報通信技術の基礎知識を有し，さらに情報通信機器の高機能化を実現する集積回路技術や新機能デバイス，高度通信技術，高度センシング技術などの専門知識を備え，情報通信，エレクトロニクス，またその融合分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。

（社会基盤デザインコース）

亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かした環境調和型の工学的価値を創造し，空港，港湾，離島架橋，道路，鉄軌道を含む公共交通システム等，地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創成するとともに，環境共生，災害リスク軽減，社会資本の長寿命化，及び新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源開発等の技術的ニーズに対応できる人材を育成することを目的とします。

（建築学コース）

地域的課題の解決に資する役割を負って国内及び国際的に活躍できる素養を身に付けるため，亜熱帯島嶼地域の自然・社会・文化的条件のもとでの建築と地域環境のあり方を深く探求するとともに，普遍的な建築関連技術を修得することにより，自然と調和し安全で快適な建築物，それらの集合した都市・地域を計画・設計・建設・管理できる技術者を育成します。

（知能情報コース）

論理的思考力と自然科学の知識を基盤として知能情報分野の専門知識・実践力・デザイン能力・解析能力及び幅広い教養と技術者倫理・能動的学習能力を修得するとともに，知能情報技術が社会と人間及び環境に与える影響と使命を深く理解し，知能・情報・システムの先端技術を通じて国際的視点に立って柔軟かつ自律的に活躍できる技術者を養成します。

2. 求める能力・適性等

（各コース共通）

(1)工学を学ぶ意欲と目的意識を有し，高等学校で学んだ基礎学力を身に付けた人
(2)修得した知識等を活用するための思考力，判断力，表現力を身につけている人
(3)様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

【特に第3年次特別編入学で求める学生像】

各コースの専門分野に関する基礎的な知識及び学力を有し，さらに高度な専門知識と技術を身につけるために自ら積極的に学ぼうとする人。

3. 高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等

（各コース共通）

本学科が指定している受験科目を履修していることが望ましいです。数学，物理，特に微分・積分は本学科の学習内容に密接に関係しているので，確実に身に付けておくことが必要です。

4. 入学者選抜の基本方針

（各コース共通）

第3年次特別編入学入試では学力検査及び面接を課しています。学力検査では各コースの専門分野に関する基礎的な知識・技能と思考力を評価します。面接では学習意欲，表現力や主体性を評価します。

1. 募集人員

工学部工学科の募集はコース毎に行います。（※各コースの人数は目安の人数です。）

工学部工学科（計 20 名）			
機械工学コース	３名	エネルギー環境工学コース	２名
電気システム工学コース	２名	電子情報通信コース	３名
社会基盤デザインコース	２名	建築学コース	２名
知能情報コース	６名		

2. 編入学の時期及び年次

令和３年４月入学とし，第３年次とします。

修業年限は２年とします。ただし，修業年限の２倍を超えて在学することはできません。

3. 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者又は令和３年３月 31 日までに卒業見込みの者

(2) 短期大学，高等専門学校，旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者若しくは令和３年３月 31 日までに卒業見込みの者

(3) 工業及び工業に関する分野の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法〈昭和 22 年法律第 26 号〉第 90 条第１項に規定する者に限る。）又は修了見込みの者

※文部科学大臣の定める基準とは，「修業年限が２年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上」である。

(4) 修業年限４年以上の大学に２年以上在学（休学期間を除く。）し，62 単位以上を修得した者又は令和３年３月 31 日をもって２年間在学（休学期間を除く。）し，62 単位以上を修得見込みの者

(5) 学校教育法施行規則附則第７条の規定により大学の第３年次に編入学できる者

(6) 外国において，学校教育における 14 年以上の課程を修了した者又は令和３年３月 31 日までに修了見込みの者

(7) 高等学校の専攻科の課程，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法〈昭和 22 年法律第 26 号〉第 90 条第１項に規定する者に限る。）若しくは令和３年３月 31 日までに修了見込みの者

4. 試験方法及び試験日程

コース	試験方法		試験日	試験時刻
機械工学コース	筆記	材料力学，機械材料・工作法，流体力学，熱力学，制御工学の５科目の中から出願時に２科目選択	令和２年８月28日（金）	9:30~11:30
	面接			13:00~
エネルギー環境工学コース	筆記	材料力学，機械材料・工作法，流体力学，熱力学，制御工学の５科目の中から出願時に２科目選択		9:30~11:30
	面接			13:00~
電気システム工学コース	筆記	数学（微分方程式，線形代数学）専門基礎（電磁気学，回路理論）		10:00~11:30
	面接			13:00~
電子情報通信コース	筆記	数学（微分方程式，線形代数学）専門基礎（電磁気学，回路理論）		10:00~11:30
	面接			13:00~
社会基盤デザインコース	筆記	構造力学，水理学，土質力学		10:00~11:30
	面接			13:00~
建築学コース	筆記	大学基礎科目（英語，数学，物理）		10:00~11:30
	面接	（口頭試問を含む。）		13:00~
知能情報コース	筆記	数学（微分積分学，線形代数学），情報工学（コンピュータ・アーキテクチャ，アルゴリズムとデータ構造）		10:00~11:30
	面接			13:00~

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は，令和２年８月31日（月）に試験を行います。

5. 配点

学科	筆記	面接	合計
工学科	200	100	300

6. 試験当日の集合場所及び集合時刻

コ　ー　ス	集合場所	試験方法	集合時刻
機械工学コース	4号館3階 301（機械自習室）	筆　記 面　接	9：15 12：45
エネルギー環境工学コース	4号館3階 301（機械自習室）	筆　記 面　接	9：15 12：45
電気システム工学コース	3号館1階 102（大講義室）	筆　記 面　接	9：30 12：45
電子情報通信コース	3号館1階 102（大講義室）	筆　記 面　接	9：30 12：45
社会基盤デザインコース	2号館4階 409b	筆　記 面　接	9：30 12：30
建築学コース	1号館3階 308（リフレッシュルーム）	筆　記 面　接	9：30 12：30
知能情報コース	1号館3階 321	筆　記 面　接	9：30 12：45

※試験開始時刻（面接においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は，受験できません。

7. 採点・評価基準及び合否判定基準

コ　ー　ス	採点・評価基準	合否判定基準
機械工学コース	〈筆記試験〉 ・複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化する。	・筆記試験，面接を点数化し，総合得点で順位付けを行い，合否を判定する。 ・総合得点の上位から順次合格とする。ただし，成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 ・総合得点が同点の場合，同点者は全員同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者すべてを合格者とする。 ・筆記試験の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は0点の者については，不合格とする。
エネルギー環境工学コース	〈筆記試験〉 ・複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化する。	

コ　ー　ス	採点・評価基準	合否判定基準
電気システム工学コース	〈筆記試験〉 ・専門に関する基礎学力を確かめるために，数学，専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・志願理由・動機，将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。	・筆記試験，面接を点数化し，総合得点で順位付けを行い，合否を判定する。 ・総合得点の上位から順次合格とする。ただし，成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 ・総合得点が同点の場合，同点者は全員同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者すべてを合格者とする。 ・筆記試験の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は０点の者については，不合格とする。
電子情報通信コース	〈筆記試験〉 ・専門に関する基礎学力を確かめるために，数学，専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・志願理由・動機，将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。	
社会基盤デザインコース	〈筆記試験〉 ・社会基盤工学に関する専門学力を確かめるために，構造力学，水理学，土質力学の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・人物，勉学意欲などについて質疑を行い，点数化する。	
建築学コース	〈筆記試験〉 ・大学で学ぶ上で必要な基礎学力（英語，数学，物理）を確かめるための筆記試験を課す。 〈面接（口頭試問を含む）〉 ・建築学の基礎的知識を確かめるための口頭試問，及び，学習意欲，コミュニケーション能力（理解力，論理性，表現力）を確かめるための面接を行い点数化する。	
知能情報コース	〈筆記試験〉 ・専門に関する基礎学力を確かめるために，数学，専門基礎の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 〈面接〉 ・人物，学習意欲，将来計画，コミュニケーション能力（理解力，論理性，表現力）を評価して点数化する。	

8. 出願手続

(1) 出願期間：令和２年７月１０日（金）～７月１６日（木）

出願書類の受付は郵送に限ります。郵送は**「書留速達」**とし，「工学部第３年次特別編入学願書」と朱書してください。**出願最終日は，令和２年７月１６日（木）１７時必着とします。**

(2) 送付先：琉球大学工学部学務係

〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

TEL　098-895-8583（直通）　FAX　098-895-8590

(3) 出願書類

①編入学願書（添付用紙）

②受験票・写真票（添付用紙）

③調査書（又は学業成績証明書）出身学校の長が作成し，厳封したもの

④志願者整理表（添付用紙）

⑤卒業証明書又は卒業見込証明書（大学在学中の者は在学証明書，大学中退者は在学期間証明書）

⑥専修学校出身者は，出身学校が発行する，修了した課程又は修了する課程が文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書

※文部科学大臣の定める基準とは，「修業年限が２年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上」である。

⑦在留資格を証明するもの（外国人留学生のみ）

登録原票記載事項証明書，パスポートの写し，入国査証（Visa）の写し等を提出してください。

⑧返信用封筒（受験票返送用）

長形３号封筒（縦 23 ㎝×横 12 ㎝）に 374 円分の切手を貼付し，出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ提出してください。

⑨検定料納付証明書（大学用）

添付の「検定料振込書」を使用し，検定料 30,000 円を下記方法により振込んでください。

東日本大震災，熊本地震，平成 30 年７月豪雨，北海道胆振東部地震又は令和元年度台風 15 号，19 号における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者に係る検定料は特例措置により免除されます。詳しくは 11 ページをご覧ください。

検定料振込期間　　令和２年７月７日（火）～７月１６日（木）

1. 振込方法

①検定料振込書の※印欄を黒のボールペン(消えるボールペンは不可)で正確に記入してください。
《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》

②必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

③振込手数料については，志願者本人負担となります。

④金融機関窓口から「検定料納付証明書**（大学用）**」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。

⑤「検定料納付証明書**（大学用）**」は**出願書類に同封して提出**してください。

※本募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は，各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。

振込依頼人氏名は，先に募集区分（工学部第３年次特別編入学は１５２２），次に志願者本人氏名としてください。

例　１５２２　ﾀﾞｲｶﾞｸ　タロウ

・振込先口座，金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

・受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

2. 留意事項

①検定料が振込まれていない場合，「検定料納付証明書**（大学用）**」が出願書類に同封されていない場合，「検定料納付証明書**（大学用）**」に取扱金融機関収納印がない場合は，出願書類を受理しません。

②既納の検定料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

ア．検定料を振込んだものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終

了したり，書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ．誤って検定料を二重に振込んだ場合

※上記ア，イに該当する場合は，本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し，払戻の理由を選択，氏名欄へ押印のうえ，「検定料納付証明書**（大学用）**」を同封して下記へ送付してください。

（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。）

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は，振込用の店名・店番・預金種別・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後２～３ケ月程度かかります。）

送付期限：令和３年３月 31 日（水）

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL: 098-895-8058

ウ．特例措置対象者（11 ページ参照）が検定料を振込んだ場合。

※上記ウに該当する場合は，返還手続（11 ページ参照）を行ってください。

９．受験に関する注意

(1) 試験場は，できるだけ事前に下見をしておいてください。なお，試験場の試験室配置図及び注意事項は，試験前日の 15 時以降に工学部１号館前の他，数か所に掲示します。

(2) 試験当日は，４ページに記載の集合時刻までに各コース指定の集合場所へ集合してください。なお，試験室への入室は監督者の指示に従ってください。

(3) 試験室へ入室し，座席に着いたとき，受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。

(4) **試験開始時刻（面接においては集合時刻）から 30 分を超えて遅刻した者は，受験できません。**

(5) 試験室の机上には，本学の受験票，時計（計時機能だけのもの），筆記用具「鉛筆（HB），シャープペンシル（HB），消しゴム，鉛筆削り（電動式を除く）」のみを置いてください。それ以外の所持品は，監督者の指示に従ってください。なお，機械工学コース，エネルギー環境工学コースでは関数電卓を用いる場合がありますので各自で持参してください。

(6) 問題用紙は，試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。

(7) 解答用紙には，受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は，無効とすることがあります。

(8) 試験中に不正行為をしたり，あるいは解答用紙等を試験室外に持ち出した場合は，無効となります。

(9) 試験中に質問，用便，身体の不調がある場合は，挙手をして監督者の指示に従ってください。

(10) 試験開始後 35 分以内の退室は認めません。試験開始後 35 分を超えた場合は退室できます。試験時間終了前に退室する場合は，挙手をして監督者の指示に従い，静かに退室してください。

(11) 解答用紙は解答の如何にかかわらず，必ず提出してください。

(12) **携帯電話，スマートフォン等の音の出る機器は試験室に入る前に必ず電源を切って，カバン等に入れておいてください。**

(13) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は，十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。

(14) 入学試験を欠席する場合は，事前に工学部学務係（098-895-8583）へ連絡してください。

(15) 咳，くしゃみ，鼻水等の症状がある場合には，マスクを着用してください。

(16) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，受験の中止と退室を命じられ，それ以後の受験はできなくなります。また，既に受験した試験等の成績も無効になります。

① 編入学願書，受験票・写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。

② カンニングをしたり，カンニングの手助けをすること。

③ 試験時間中（控え室での待機中も含む）に試験監督者等に許可なく携帯電話やスマートフォン，腕時計型端末，電子辞書，IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。また，これらの機器をかばん等にしまわず，身につけていたり手に持っていること。

④　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。
⑤　試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
⑥　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑦　試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
⑧　その他，試験の公平性を損なう行為をすること。

10. 合格者の発表

発表日：令和２年９月３０日（水）

発表方法
(1) 工学部１号館 101 工学部事務室前に掲示(11 時)します。
(2) 合格者への合格通知書を送付します。
(3) 工学部ウェブサイト（http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/）での掲載

合格通知を受けた者は，特別編入学確約書を令和２年１０月１２日（月）までに提出してください。同日までに提出がない場合は辞退したものとして取り扱うことになりますのでご留意願います。

11. 追加合格・第2次募集

合格者の入学辞退等により，募集人員に満たない場合は，追加合格又は第２次募集により欠員を補充する場合があります。

12. 入学手続及び諸経費

入学手続等については，特別編入学確約書提出者に対して令和３年２月中旬に「入学手続案内」を送付しますので，それに従い入学手続を行ってください。
なお，入学手続期間は，令和３年３月中旬を予定しています。

（注）出願資格（２ページ参照）の「大学において令和３年３月 31 日をもって２年間在学（休学期間を除く）し，62 単位以上を修得見込みの者」が，合格した後，これらの要件を満たすことができない場合は，入学することができません。

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」で通知します。
①入学料　　282,000 円（予定額）
②授業料（前期分）　267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

（注１）上記については予定額であり，入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は，改定時から新たな金額が適用されます。
（注２）授業料の納入については，本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。
（注３）入学料の免除又は徴収猶予若しくは授業料の免除を希望する者（対象者については，合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより，免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間，入学料又は授業料の納付が猶予されます。

13. 編入学後の単位認定及び履修

高等専門学校及び大学等で修得した単位を，本学における授業科目の単位として読み替える申請があった場合，既得科目の内容が，原則として認定を希望する本学の授業科目と同等とみなされ，かつ，単位数が同一又は多い場合に限り，本学の当該授業科目の範囲内で認めることがあります。

高等専門学校については，既得科目のうち，高学年（４・５学年）で開講される科目を認定の対象とします。ただし，高学年以外の授業科目であっても，内容が大学学部の授業科目と同程度であることが証明できる場合は，認定することがあります。

単位認定の申請に際しては，**入学手続期間内**に単位認定資料（授業内容と評価方法，評価基準が分かるシラバス，成績証明書，教科書など）を提出してください。単位認定資料の提出がない場合は，単位が認定されない場合があります。

社会基盤デザインコースでは，編入学者の前の高等教育機関が，JABEE 認定プログラムの場合は，上述の単位認定資料を基に単位認定を行います。非 JABEE 認定プログラムの場合は，上述の単位認定資料に加えて，修得科目のレベルを口頭試問で確認・評価し，単位認定を行います。

なお，単位認定状況及び修学状況によっては，本学を卒業するのに修業年限（２年）を超える年数を要することがあります。

14. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者）

編入学前の既修得単位を単位認定した科目について，教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目の単位の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則第 66 条の7

高等専門学校（第４学年及び第５学年に係る課程に限る。）で修得した科目に係る科目で教科に関する科目として適当であると認めた科目	⇨	高等学校教諭普通免許状については 10 単位を限度

15. 受験時における合理的配慮等について

本学に入学を志願する者で，障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第２条第１号に定める障害者（身体障害，知的障害，精神障害（発達障害を含む。）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する。）がある者であって，障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。）で，受験時に合理的配慮を必要とする者は，あらかじめ**本学障がい学生支援室**に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し，その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により通知します。検討結果通知書の受領後は記載事項を確認のうえ，同封の書類をご返送ください。

なお，合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので，できる限り早めに申請してください。

○申請方法

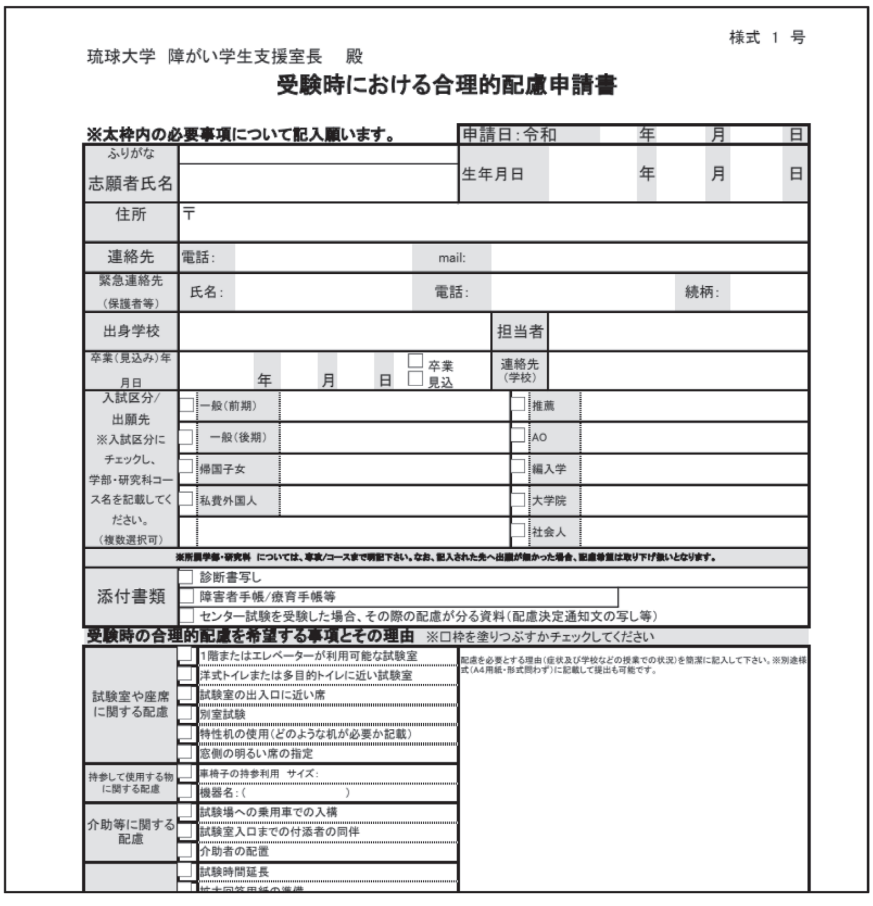
本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を令和２年６月30日（火）17時までに障がい学生支援室へ提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は，本学において志願者，保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を事前に行います。

「受験時における合理的配慮申請書」の様式は，本学障がい学生支援室ホームページ（http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/）「支援を希望される皆さまへ」からダウンロードできます。

また，上記以外で疾病・負傷等により，受験時に特別な配慮を必要とする者も，令和２年６月30日（火）17時までに本学障がい学生支援室に電話，FAX又は電子メールでご相談ください。

連絡先：〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原１番地
琉球大学障がい学生支援室
TEL　098-895-8750　FAX　098-895-8791
E-mail　g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

○受験時における合理的配慮申請書（イメージ）：申請書はダウンロードしたものを提出ください。



様式 1 号

琉球大学 障がい学生支援室長　殿

受験時における合理的配慮申請書

※太枠内の必要事項について記入願います。		申請日：令和　年　月　日
ふりがな 志願者氏名		生年月日　年　月　日
住所	〒	
連絡先	電話：	mail：
緊急連絡先（保護者等）	氏名：	電話：　続柄：
出身学校		担当者
卒業（見込み）年月日	年　月　日 ☐卒業 ☐見込	連絡先（学校）

入試区分/出願先 ※入試区分にチェックし、学部・研究科コース名を記載してください。（複数選択可）				
	☐	一般（前期）	☐	推薦
	☐	一般（後期）	☐	AO
	☐	帰国子女	☐	編入学
	☐	私費外国人	☐	大学院
			☐	社会人

※所属学部・研究科　については、専攻/コースまで明記下さい。なお、記入された先へ出願が間かった場合、配慮希望は取り下げ扱いとなります。

添付書類	
	☐ 診断書写し
	☐ 障害者手帳/療育手帳等
	☐ センター試験を受験した場合、その際の配慮が分る資料（配慮決定通知文の写し等）

受験時の合理的配慮を希望する事項とその理由　※☐枠を塗りつぶすかチェックしてください

試験室や座席に関する配慮	☐	1階またはエレベーターが利用可能な試験室	配慮を必要とする理由（症状及び学校などの授業での状況）を簡潔に記入して下さい。※別途様式（A4用紙・形式問わず）に記載して提出も可能です。
	☐	洋式トイレまたは多目的トイレに近い試験室	
	☐	試験室の出入口に近い席	
	☐	別室試験	
	☐	特性机の使用（どのような机が必要か記載）	
	☐	窓側の明るい席の指定	
持参して使用する物に関する配慮	☐	車椅子の持参利用　サイズ：	
	☐	機器名：（　　）	
介助等に関する配慮	☐	試験場への乗用車での入構	
	☐	試験室入口までの付添者の同伴	
	☐	介助者の配置	
	☐	試験時間延長	
	☐	拡大図等用紙の準備	

16. 災害等により被災した令和3年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置

令和２年度に実施される入学者選抜に関して，被災者の経済的負担を軽減することにより，受験の機会を確保するため，以下のとおり特例措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除　30,000 円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
①東日本大震災，熊本地震，平成 30 年７月豪雨，北海道胆振東部地震又は令和元年度台風 15 号，19 号における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で，以下のいずれかに該当する者	
ア　主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流失した場合	り災証明書
イ　主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
②居住地が福島第一原子力発電所事故により，帰還困難区域，居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

(3) 申請の方法

入試区分	申請方法
第３年次特別編入学入試	本学所定の様式（検定料免除申請書）に，り災証明書等を添えて，出願書類とともに同封のうえ提出してください。 なお，申請する場合は，「検定料」を振込まないでください。 また，既に納付した検定料の返還を希望する場合は，本学所定の様式（返還金払戻請求書）に，り災証明書等を添えて工学部学務係へ申請してください。申請後，検定料を返還します。 ※返還金払戻請求書の提出期限は，令和３年３月 31 日（水）までとします。 提出先　〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原１番地 琉球大学工学部学務係 TEL　098-895-8583（直通）

17. 出願に関する第2志望の取扱い（機械工学コース・エネルギー環境工学コース）

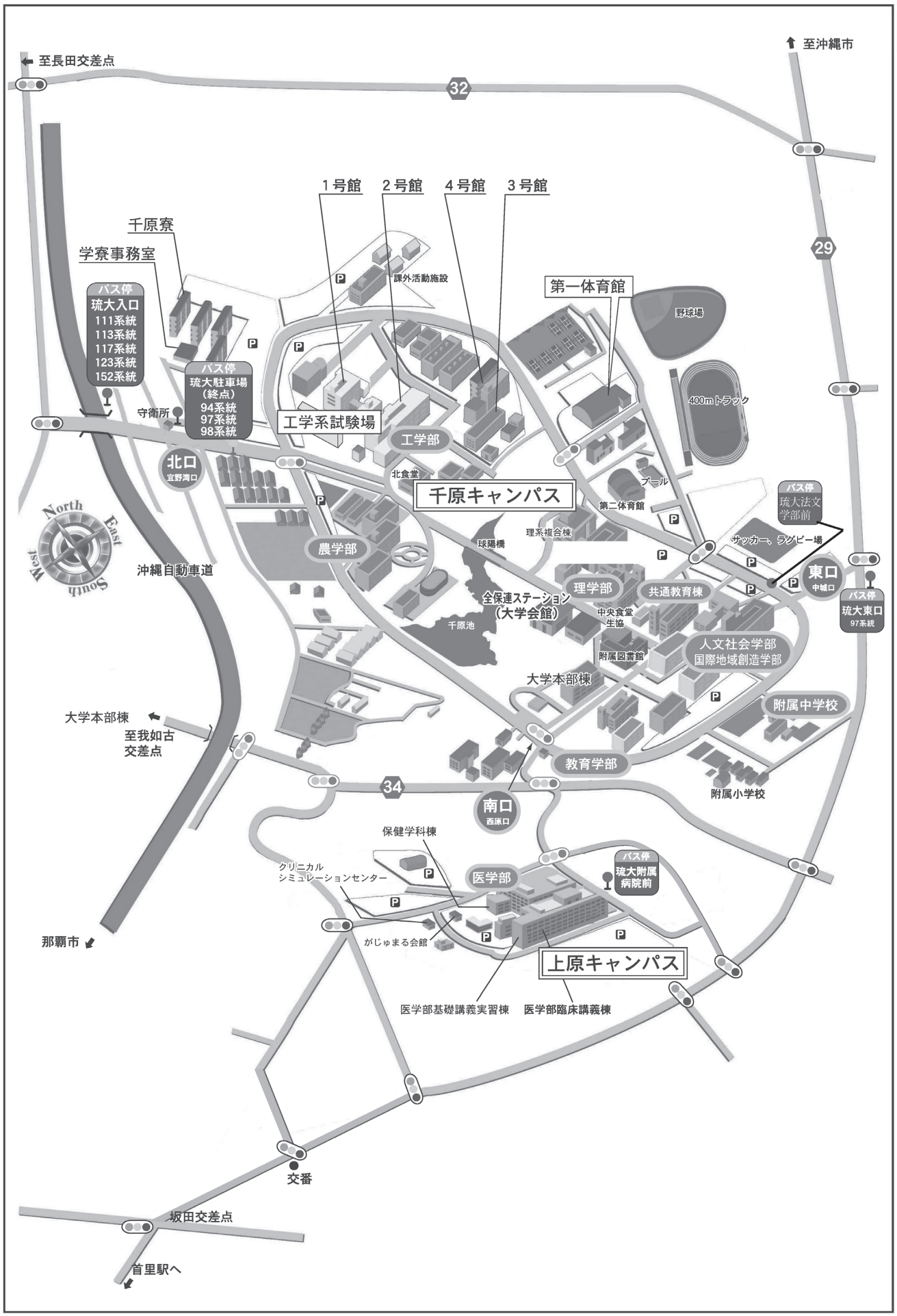
① 第１志望として機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに出願する者は，第２志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースに出願することができます。

② 第１志望のコースに合格した場合は，第２志望のコースの合否判定の対象者とはしません。

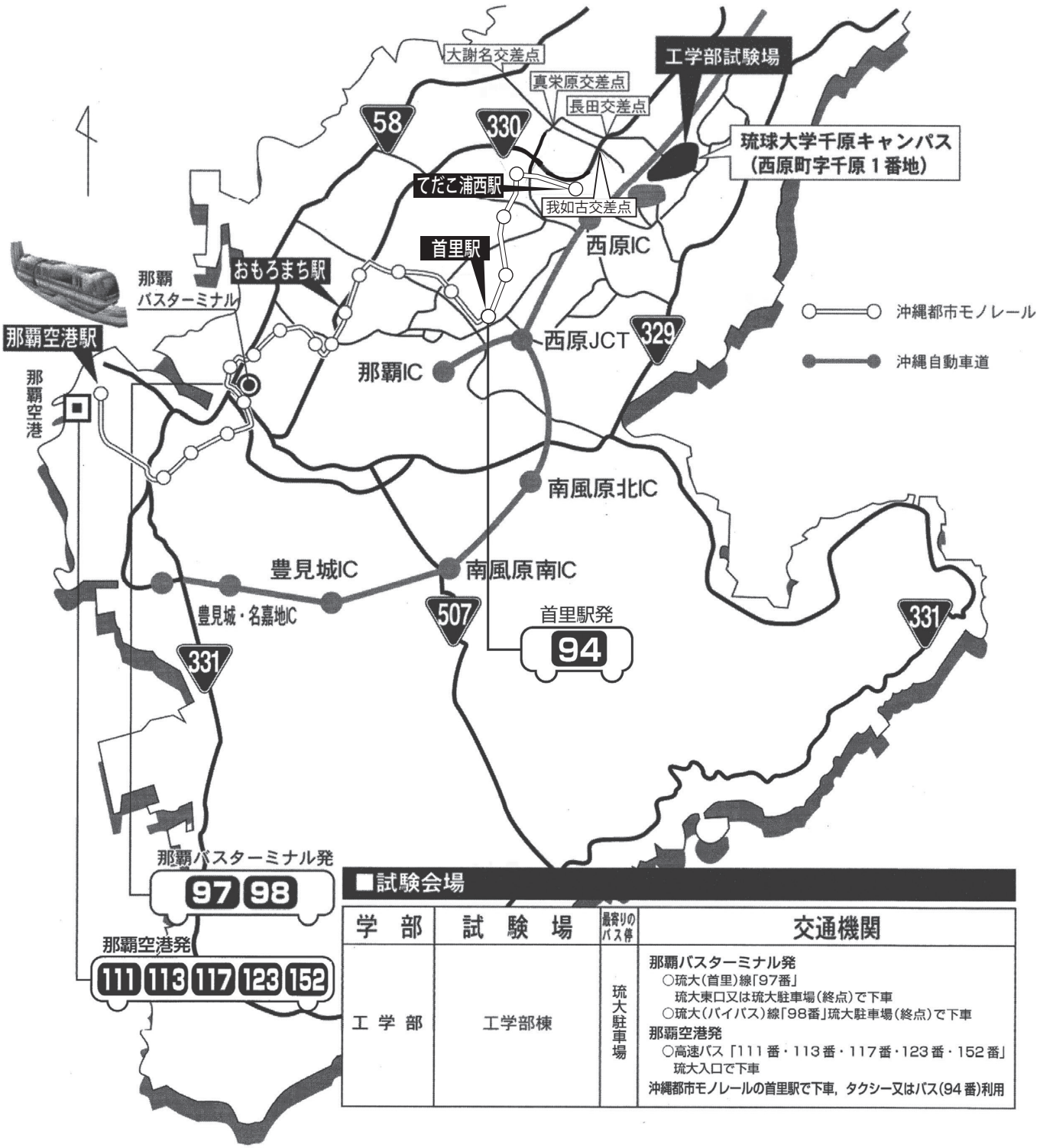
③ 合否判定においては，第１志望とする者及び第２志望とする者（第１志望のコースへの合格者を除く）を対象者とし，総合得点の上位から順次合格者とします。

④ 上記③において，第２志望とする者が第２志望のコースの合格者となった場合は，その者を第１志望のコースの追加合格候補者としません。

18. 試験会場案内図


至長田交差点
至沖縄市
32
29
34
1号館
2号館
4号館
3号館
千原寮
学寮事務室
課外活動施設
第一体育館
野球場
400mトラック
バス停
琉大入口
111系統
113系統
117系統
123系統
152系統
バス停
琉大駐車場
（終点）
94系統
97系統
98系統
守衛所
工学系試験場
工学部
北口
宜野湾口
北食堂
千原キャンパス
プール
第二体育館
バス停
琉大法文
学部前
サッカー、ラグビー場
理系複合棟
球陽橋
農学部
東口
中城口
バス停
琉大東口
97系統
理学部
共通教育棟
全保連ステーション
（大学会館）
中央食堂
生協
千原池
附属図書館
人文社会学部
国際地域創造学部
大学本部棟
附属中学校
教育学部
附属小学校
南口
西原口
保健学科棟
クリニカル
シミュレーションセンター
医学部
バス停
琉大附属
病院前
がじゅまる会館
上原キャンパス
医学部基礎講義実習棟
医学部臨床講義棟
沖縄自動車道
North
East
South
West
大学本部棟
至我如古
交差点
那覇市
交番
坂田交差点
首里駅へ

19. 琉球大学案内図



■試験会場

学　部	試　験　場	最寄りのバス停	交通機関
工 学 部	工学部棟	琉大駐車場	那覇バスターミナル発 ○琉大（首里）線「97番」 琉大東口又は琉大駐車場（終点）で下車 ○琉大（バイパス）線「98番」琉大駐車場（終点）で下車 那覇空港発 ○高速バス「111番・113番・117番・123番・152番」 琉大入口で下車 沖縄都市モノレールの首里駅で下車，タクシー又はバス（94番）利用

■空港からバスで琉球大学へ

（工学部）

空港 → 路線バス（25 99 26 120 125）→ 那覇バスターミナル
- 97 → 琉大東口
- 98 → 琉大駐車場
- 高速バス（111 113 117 123 152）→ 琉大入口 → 徒歩 約4分 → 琉大駐車場

■空港からモノレールで琉球大学へ

空港 → モノレール（所要時間 約27分）→ 首里駅
- 路線バス（94）→ 琉球大学
- タクシーで 約20分 → 琉球大学

令和３年度琉球大学工学部
第3年次特別編入学願書

※受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿

志望コース　（下記の志望コース名〈第一志望のみ〉を〇で囲んでください）			
機械工学コース	エネルギー環境工学コース	電気システム工学コース	
電子情報通信コース	社会基盤デザインコース	建築学コース	知能情報コース

機械工学コース又はエネルギー環境工学コースの志願者で，第２志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースを希望する者は右欄に〇を記入してください。（11 ページの第２志望の取扱いを参照）	

フリガナ		性　別
氏　　名		男・女
生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日生（西暦　　年生） 令和３年４月１日現在満　　歳	
フリガナ		
連絡先	〒　　－ 電話　　－　　－ 携帯　　－　　－	
出願資格	＿＿＿＿＿＿都道府県　国立・公立・私立 ＿＿＿＿＿＿大学・短期大学　＿＿＿＿学部　＿＿＿＿学科 ＿＿＿＿＿＿高等専門学校　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学科 ＿＿＿＿＿＿専修学校　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学科・科 ＿＿＿＿＿＿高等学校専攻科　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学科 平成・令和　　年　　月　　卒業・卒業見込 退学・＿＿年在学中	
受験科目（専門科目から選択）	●機械工学コース ●エネルギー環境工学コース の志願者のみ記入してください。 **（本要項の３ページを参照）**	
保護者等の氏名・連絡先	フリガナ	本人との続柄
	氏　　名	
	〒　　－ 電話　　－　　－ 携帯　　－　　－	

履　歴（学歴については中学校卒業以後について記入し，見込も記入してください）	
平成・令和　　年　　月	中学校卒業
平成・令和　　年　　月	
平成・令和　　年　　月	
平成・令和　　年　　月	
平成・令和　　年　　月	
平成・令和　　年　　月	
平成・令和　　年　　月	

第３年次特別編入学願書記入要領

入学願書の記入にあたっては，黒のボールペンを使用し，文字は楷書，数字は算用数字で正確に記入してください（消えるボールペン不可）。

１．志望コース

志望するコース（第１志望のみ）を○で囲んでください。機械工学コース又はエネルギー環境工学コースの志願者で，第２志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースを希望する者は指定欄に○を記入してください（11 ページの第２志望の取扱いを参照）。

２．氏名・性別等

氏名は戸籍上の氏名を記入し，性別は該当する文字を○で囲んでください。

３．連絡先

本学からの通知等は，すべてこの住所宛に行うので正確に記入してください。変更があった場合は，琉球大学工学部学務係（098-895-8583）に連絡してください。

４．出願資格

出身学校の所在地（都道府県名のみ），設置者の別（国立，公立，私立の該当する文字を○で囲んでください），学校名，学部名，学科名・課程名等を記入してください。

５．※印欄は記入しないでください。

令和３年度
琉球大学工学部

受験票

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部・学科	工学部　工学科	
志望コース	コース	
受験科目 （機械工学コース，エネルギー環境工学コースのみ記入）		
フリガナ		男・女
氏　名		

写真貼付欄
（上半身・脱帽・正面向きで，出願前3ケ月以内に撮影したもの）
縦4cm×横3cm

令和３年度
琉球大学工学部

写真票

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部・学科	工学部　工学科	
志望コース	コース	
フリガナ		男・女
氏　名		
※ 出席欄		写真貼付欄 （上半身・脱帽・正面向きで，出願前3ケ月以内に撮影したもの） 縦4cm×横3cm

記入上の注意

1．志望するコース名（第１志望のみ）を記入してください。第２志望のコース名を記入しないようにご注意ください。

2．機械工学コース，エネルギー環境工学コースへ出願する場合は，本募集要項３ページから受験科目を２科目選択し，記入してください。

3．受験票の裏面を確認してください。

4．写真の裏面に氏名を記入してください。

5．**※印欄は記入しないでください。**

6．出願の際は，破線部から丁寧に切り離してください。

受　験　心　得

(1) 試験当日の集合場所・集合時刻については，
４ページをご確認ください。

(2) 試験開始時刻（面接（口頭試問を含む。）においては集合時刻）から 30 分を超えて遅刻した者は，受験できません。

(3) 不正行為のあった者は，直ちに退室を命じます。

(4) 受験に際しては，本受験票を必ず携帯してください。

(5) 本募集要項７ページの「９.受験に関する注意」を熟読してください。

(6) 機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに志願する者は関数電卓を持参してください。

（編入学入試用）

令和　　年　　月　　日

検定料免除申請書

国立大学法人琉球大学長　殿

（請求者）
受付番号（大学側で記入）
入学者選抜試験の種類
■第３年次特別編入学
出願学部　工学部　工学科 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿コース
フリガナ
志願者氏名　　印
住　　所
電　　話

平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災，平成２８年４月１４日に発生した熊本地震，平成３０年７月豪雨，平成３０年９月６日に発生した北海道胆振東部地震又は令和元年度台風１５号，１９号において，下記のとおり被災しましたので，り災証明書等を添付の上，検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

□全壊　　□大規模半壊　　□半壊　　□流出
□学費負担者死亡又は行方不明
□福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)
１．この検定料免除申請書はコピーして使用してもよい。

令和　　年　　月　　日

返還金払戻請求書

国立大学法人
琉球大学長　　殿

（請求者）
〒
住　　所
フリガナ
氏　　名　　印
電話番号

私が令和　　年　　月　　日に納付した検定料　　円について，以下の理由により払戻を請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退　※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 特例措置に該当
5. その他（　　）

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀 行	支 店	
預金種別	1　普 通	2　当 座	
口座番号	（ 店 番 ）	―	（口座番号）

預金種別欄は，該当項目番号を〇で囲んでください。

［注意］
※ 請求者は志願者本人としてください。
※ 保護者等，請求者以外の口座名義を指定する場合は，続柄も記入してください。
※ ゆうちょ銀行口座へ振込を受ける場合は，振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先　〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL：098－895－8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書（大学用）
をこの枠内に貼り付けのうえ，ご提出ください。

※払戻理由のうち，4．特例措置に該当した場合は貼り付け不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書で振り込んだ場合は，受領書をご同封ください。

記入上の注意

○ **「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》**
○ 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込んでください。 ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。
○ 振込手数料については，志願者本人負担となります。
○ 金融機関窓口から「検定料納付証明書（**大学用**）」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
○ 「検定料納付証明書（**大学用**）」は**出願書類に同封して提出**してください。

検　定　料　振　込　書

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書 （大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年　月　日		
金額	¥30,000－		
※振込先	いずれかの銀行に○をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859
（※依頼人（志願者）	募集区分	1522	
	（フリガナ）		
	氏名		
令和３年度　琉球大学　検定料 工学部　第３年次特別編入学			

（大学提出時に切離し）

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人→大学）

振込金（兼手数料）領収書

※ 依頼日	年　月　日			手数料	
振込金額				¥3000	円
※振込先	いずれかの銀行に○をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366		
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358		
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859		
受取人口座名	国立大学法人 琉球大学				
（※依頼人（志願者）	（フリガナ）				
	氏名				
令和３年度　琉球大学　検定料 工学部　第３年次特別編入学					

上記のとおり領収しました。

取扱金融機関収納印

（取扱店→振込人）

取扱店へのお願い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

（振込時金融機関で切離し）

振　込　依　頼　書　電信扱

				勘定科目		
※ 依頼日	年　月　日		振込指定	電信扱	手数料	
※振込先	いずれかの銀行に○をする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	金額	¥3000	円
		沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	内訳 現金		
		沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358			
		みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859			
受取口座名人	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ﾘｭｳｷｭｳﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人 琉球大学					
（※依頼人（志願者）	募集区分	1522	※フリガナ			
	※　氏名					
	※（住所） （電話番号）					
備考	令和３年度　琉球大学　検定料 工学部　第３年次特別編入学 【納入期間】 令和２年７月　７日（火）から 令和２年７月１６日（木）まで					

取扱金融機関収納印

（取扱店用）

志願者整理票

※ 印欄は記入しないこと。

琉球大学工学部第3年次特別編入学者選抜試験

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ) 氏名	性別	出身学校名 出身学校所在都道府県名	学科名
※	( )	男・女		

注意 ： この整理票は，シールになっているので，はがれないように取り扱うこと。

合格通知書送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住 所 (〒)

氏 名 殿

(※受験番号)

入学手続書類送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住 所 (〒)

氏 名 殿

(※受験番号)